

新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業)

熊本市立必由館高等学校

出会う つながる ともに創る
～ 必由館で 如才心を カタチに ～



I はじめに

▶ 沿革

1911年4月	熊本市立実科高等女学校として開校
2001年4月	熊本市立必由館高等学校と校名を変更
2024年4月	普通科から『 文理総合探究科 』へ学科改編

▶ R6° 入学者選抜倍率（前期／後期）

過去3年の平均	
普通	— / 1.6
国際コース	2.8 / 1.3
芸術コース	2.8 / 1.3
服飾デザインコース	2.5 / 1.4



R6°入学者	
文理コース	3.8 / 2.5
芸術コース	2.9 / 1.3
生活デザインコース	1.5 / 0.8

▶ 卒業生進路実績（理系大学への進学17%）

	R5°卒業	R4°卒業
国公立大学	38	32
私立大学	341	231
短期大学	22	23
専門学校	63	73
就職・公務員	16	19

Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ 教育課程
- ▶ 文理総合的な学び
 - ・ 学校設定教科「必由学」
 - ・ 市役所連携「感じる探究！in必由館」
 - ・ 昨年度の実践
- ▶ 職員研修の充実
- ▶ 校務分掌の再編
 - ・ カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部
- ▶ 成果・課題



Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ 教育課程
- ▶ 文理総合的な学び
 - ・ 学校設定教科「必由学」
 - ・ 市役所連携「感じる探究！in必由館」
 - ・ 昨年度の実践
- ▶ 職員研修の充実
- ▶ 校務分掌の再編
 - ・ カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部
- ▶ 成果・課題



▶ 少人数学級の実現

普通科（これまで）	
普通	40人×6クラス
国際コース	40人×1クラス
芸術コース	40人×1クラス
服飾デザインコース	40人×1クラス



文理総合探究科（これから）	
文理コース	35人×7クラス
芸術コース	30人×1クラス
生活デザインコース	30人×1クラス

※教員数 教諭・常勤講師（65名） 非常勤講師（25名） 実習助手（3名）

▶ 高校入試改革

【後期選抜】

「スクール・ミッション」「アドミッション・ポリシー」に基づき、多様な能力・適性や意欲・関心を持つ生徒を積極的に受け入れるために、新しい制度を実施する。

後期選抜	
学校独自検査	自己アピール書・面接等
学力検査	「マークシート方式」 国社数理（30分）英（45分）
調査書	

Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ **教育課程**
- ▶ 文理総合的な学び
 - ・ 学校設定教科「必由学」
 - ・ 市役所連携「感じる探究！ in 必由館」
 - ・ 昨年度の実践
- ▶ 職員研修の充実
- ▶ 校務分掌の再編
 - ・ カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部
- ▶ 成果・課題

教育課程

1年 文理コース 必由学基礎：必由学Ⅰ、必由学Ⅱ

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
全	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	必由学Ⅰ	総探	LHR																
	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	7~8	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

2年 文理コース *類型名は仮称

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
文理	論理国語	古典探究	地理総合	歴史総合	数学Ⅱ	数学B	数学C	化学基礎	実践生基Ⅰ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	必由学Ⅱ	総探	LHR															
理文	論理国語	古典探究	地理総合	歴史総合	数学Ⅱ	数学B	数学C	物理/生物	化学基礎	化学	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	必由学Ⅱ	総探	LHR														
	4	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	4	4	7~8	2	2	4	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	

3年 文理コース *類型名は仮称

必由学応用：キャリアA（スポーツ・クリエイション）／キャリアD（リベラル・アーツ）
キャリアB（プレゼンテーション）、キャリアC（グローバルイングリッシュ）

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
文理総合	論理国語	古典探究	実践表現	地理探究/日本史探究/世界史探究	政治・経済	倫理	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	情報総合	キャリアA/キャリアD キャリアB、キャリアC	総探	LHR																			
文理探究	論理国語	古典探究	地理探究/日本史探究/世界史探究	政治・経済	数学総合	応用化学基礎	実践生物基礎Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	情報総合	総探	LHR																			
理文総合	論理国語	古典探究	地理探究/日本史探究/世界史探究	政治・経済/倫理	数学総合	応用化学基礎	応用生物基礎/応用物理基礎	体育	英語コミュニケーションⅢ	情報総合	キャリアA/キャリアD	総探	LHR																			
理文探究	論理国語	古典探究	地理探究/日本史探究/世界史探究	数学総合/数Ⅲ	化学	物理/生物	体育	英語コミュニケーションⅢ	情報総合	総探	LHR																					

探究



情報



Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ 教育課程
- ▶ **文理総合的な学び**
 - ・ **学校設定教科「必由学」**
 - ・ **市役所連携「感じる探究! in 必由館」**
 - ・ **昨年度の実践**
- ▶ 職員研修の充実
- ▶ 校務分掌の再編
 - ・ **カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部**
- ▶ 成果・課題



▶文理総合的な学び

学校設定教科「必由学」

社会ではばたくための基礎力を身に付ける

コアスキル	プレゼンテーション、表現力
データサイエンス	市役所連携、リーサスの活用
多文化理解	外国語活用能力、異文化交流

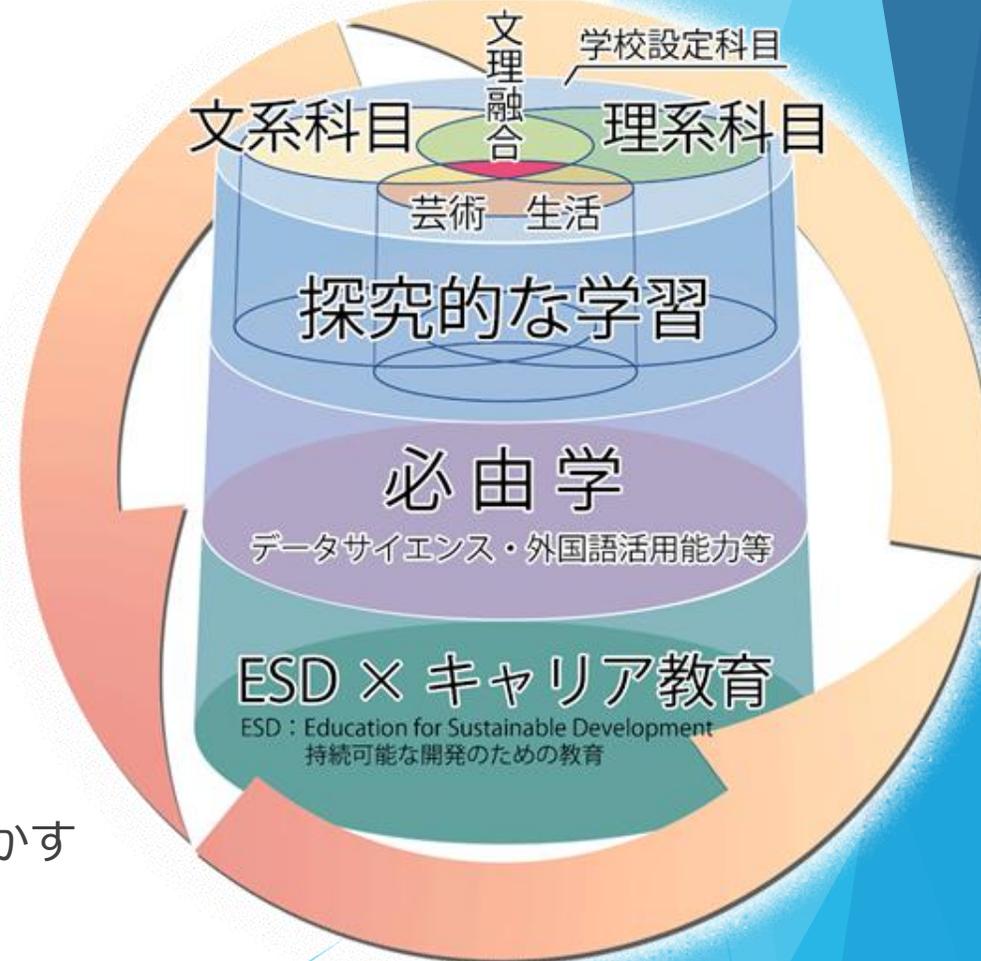


「必由学」で身に付けた力を

「探究的な学習」

「教科横断的な学習」に活かす

すべてを総合的に学習する



▶ 文理総合的な学び

市役所連携 「感じる探究！ in 必由館」

目的	<ul style="list-style-type: none">・自分たちの地域である熊本市の状況や政策について知ることにより、地域の課題を自分事として捉え、解決していこうとする探究学習のタネを見つける機会とする
ビジョン	<ul style="list-style-type: none">・熊本市第8次総合計画を軸として、生徒と市役所職員の対話を重視しながら、分野横断的に地域を知ることを目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・熊本市第8次総合計画の中から、高校生や市民に知ってもらいたい内容を中心に取り組む。・統計データを活用する。・NHKアーカイブス、REASAS等信頼できるインターネットコンテンツを活用する。・資料を収集・分析・整理し発表する。

▶文理総合的な学び

市役所連携 「感じる探究！ in 必由館」

スケジュール	5月	キックオフイベント 熊本市長 激励の言葉（動画放映） 講話 「感じる探究！ In必由館」 講師 市役所関係課、関係機関等 （29のブースを設置）
	通年	生徒による探究活動 関係各課・機関へ随時、講話やアドバイスを依頼
	発表	10月：文化祭で中間発表 3月：最終発表 関係各課・機関へは発表会への参加と講評を依頼する予定



▶ 文理総合的な学び (昨年度の実践)

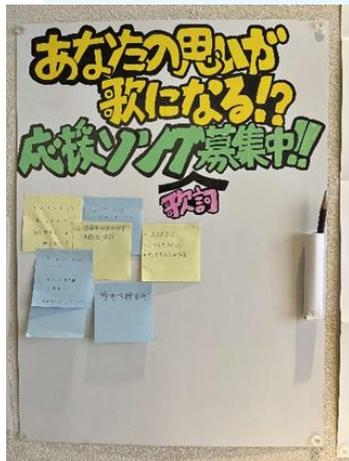
学校設定教科「必由学」の設置及び探究的な学習の充実に向けて

探究の問いを探す

『探究の「タネ」を探そう』市役所連携事業 全員参加
今年度「感じる探究！in必由館」へと進化

グループ探究

『音楽を通して地域へ貢献』
『フットパスその理論と実践～歩くことで地域を学ぶ～』
『外部企業（書店）とのコラボレーション企画』



▶ 文理総合的な学び

学校設定教科「必由学」の設置及び探究的な学習の充実に向けて（昨年度）

特別講義

東北福祉大学 教授 長田 徹 氏

『人はなぜ学ぶのか。なぜ働くのか。～自走しよう必由館！～』

Y'sReading代表取締役 熊本大学医学部 教授 中山 善晴 氏

『「自己表現としてのプレゼンテーション20×20」
～ペチャクチャナイトを使ってプレゼンテーション能力を身に付けよう～』

東京大学 教授 鈴木 寛 氏

『大学が変わる 社会が変わる 今、君たちにできること』

漫画家 藤村 緋二 氏（卒業生）

『社会課題について芸術表現することの価値』

ヒロ・デザイン専門学校 講師 原賀 友子 氏

『色彩の基礎及び色彩と生活のかかわりについて』

今年度の予定

国際理解 福岡洸太郎氏

ICT活用/プレゼン 中山 善治 氏 ①②

芸術コース特別講義 京都アニメーションスタジオ（卒業生）



Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ 教育課程
- ▶ 文理総合的な学び
 - ・ 学校設定教科「必由学」
 - ・ 市役所連携「感じる探究！in必由館」
 - ・ 昨年度の実践
- ▶ **職員研修の充実**
- ▶ 校務分掌の再編
 - ・ カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部
- ▶ 成果・課題



▶ 職員研修の充実

昨年度の実践

東北福祉大学

教授 長田 徹 氏

『キャリア教育の一層の充実に向けて』

熊本大学大学院教育学部

特任教授 前田 康裕 氏

『生徒が主体的に学ぶ学校づくり』

『対話的な学びを目指して』

『授業改善～リフレクションタイムの活用～』

『「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」と「概念化」～主体的・対話的な学びを目指して～』

福岡教育大学

副学長 教育学部教授 石丸 哲史 氏

『必由館高校改革に向けたESDの役割』

東京大学

教授 鈴木 寛 氏

『新生必由館高等学校に期待する教育の未来』

熊本県立大学

総合管理学部 教授 飯村 伊智郎 氏

『大学での学び～ICTによる社会課題の解決と学生のブランドとしての社会実装』

京都市立開建高等学校

教頭 宮越敬記 氏 教諭 松田賢太郎 氏

『新学科開設に向けた取組と新学科開設後の実践』

京都精華大学 メディア表現学部

教授 鹿野 利春 氏

『必由館高校におけるICT活用に向けた取組等』

ヒロ・デザイン専門学校

講師 原賀 友子 氏

『色彩の基礎及び色彩と生活のかかわりについて』

九州ルーテル学院大学

准教授 坂根 シルック 氏

『「学校教育とWell being」～フィンランドの教育実践～』

▶ 職員研修の充実

今年度の予定

授業改善/アップデート研修 前田 康裕 氏 ①②③

授業改善/アップデート研修 白石裕子氏

OECD連携・公共政策 鈴木 寛 氏

総合的な探究の時間 脇 雅昭 氏

カリキュラムマネジメント 長田 徹 氏

※この他に校内職員有志による自主研修を実施予定。

授業改善、ICT活用、生徒指導、クラス経営、情報交換等を検討中

Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ 教育課程
- ▶ 文理総合的な学び
 - ・ 学校設定教科「必由学」
 - ・ 市役所連携「感じる探究！in必由館」
 - ・ 昨年度の実践
- ▶ 職員研修の充実
- ▶ **校務分掌の再編**
 - ・ **カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部**
- ▶ 成果・課題

▶校務分掌の改編

カリキュラム開発部

(学校探究部・学校改革プロジェクトチームを改編)

- ・校務分掌・日課の見直し
- ・総合的探究の時間、必由学、LHRの計画・調整
- ・普通科高校改革支援事業の推進
(職員研修の計画、外部講師の選定等)
- ・公開授業の計画
- ・外部連携交渉
(市役所、企業、各種プロジェクト、復業先生)
- ・国際関係連携交渉 (OECD、JICA等)
- ・特別活動 (学校行事、生徒会、HR活動)
- ・学校訪問対応
- ・ . . .

広報企画部 (広報情報部を改編)

デジタル推進部 (新設)

広報活動の推進 (学校HP、X、YouTubeの活用)
Google系アプリ活用推進 (職員研修の企画・実施)
校内DXの推進

Ⅱ 「文理総合探究科」 普通科高校改革の実践

- ▶ 少人数学級の実現
- ▶ 高校入試改革
- ▶ 教育課程
- ▶ 文理総合的な学び
 - ・ 学校設定教科「必由学」
 - ・ 市役所連携「感じる探究！in必由館」
 - ・ 昨年度の実践
- ▶ 職員研修の充実
- ▶ 校務分掌の再編
 - ・ カリキュラム開発部 広報企画部 デジタル推進部
- ▶ **成果・課題**

▶ 成果・課題

目標

学校設定教科設置・探究的学習の充実に向けた教育課程の研究開発

職員研修・生徒研修の充実

新学科の設置に向けた広報活動の充実

成果の普及

外部機関との連携体制の構築

成果・課題①

学校改革プロジェクトチーム（⇒カリキュラム開発部、広報企画部、デジタル推進部）

- ・コア会議を年間70回程度実施。
- ・教育委員会のスクール・ミッションの策定を受け、スクール・ポリシーの検討から策定・教育課程の素案作成
- ・広報活動のための資料作成
- ・職員・生徒研修の企画運営 を担った。

▶ 教育課程を具現化に向けて引き続き検討を進めていく。校内組織改編の検討を引き続き行う。

▶ 成果・課題

目標

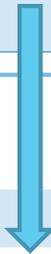
学校設定教科設置・探究的学習の充実に向けた教育課程の研究開発

職員研修・生徒研修の充実

新学科の設置に向けた広報活動の充実

成果の普及

外部機関との連携体制の構築



成果・課題②

キャッチフレーズ「出あう つながる とともに創る ～必由館でやりたいをカタチに～」(⇒学校教育目標)

- ・熊本市WEB版広報誌・WEB版学校紹介リーフレット作成
- ・YouTubeチャンネル・必由館X
- ・熊日進学ナビ掲載(地元進学誌)
- ・ラジオ・TV出演
- ・学校説明会の開催・中学校訪問
- ・芸術コース体験入学

▶ 学校の魅力が伝わるような広報を検討する。

(⇒広報企画部、デジタル推進部)

▶ 成果・課題

目標

学校設定教科設置・探究的学習の充実に向けた教育課程の研究開発

職員研修・生徒研修の充実

新学科の設置に向けた広報活動の充実

成果の普及

外部機関との連携体制の構築

成果・課題③

市役所全庁の全面的な協力のもと、（⇒「感じる探究！ in 必由館」）

- ・地域・社会が抱える課題に対して様々な観点から仮説を立て、
- ・専門家や地域の力を借りながら自分の考えを深め、
- ・課題解決への糸口を見出す課題探究型の学習を行った。

▶ 高校生が社会の一員として地域のよさや課題等を自分事として捉え、自己のキャリア形成と関連付けながらよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育むことができるよう今後も取組内容のブラッシュアップを図る。

▶ 成果・課題

目標

学校設定教科設置・探究的学習の充実に向けた教育課程の研究開発

職員研修・生徒研修の充実

新学科の設置に向けた広報活動の充実

成果の普及

外部機関との連携体制の構築

成果・課題④

- ・熊本市教育員会主催の教育イベント・外部団体企画において全国へ発信
- ・探究学習成果発表会へ招待
- ・芸術コース 音楽系：校外のホールを貸し切り成果発表会を実施
美術系・書道系：公立美術館のホールを貸し切り卒業制作展を開催
- ・生活デザインコース：イベント会場を貸し切りファッションショーを開催

▶ コースの魅力が伝わるような取組を検討する。

出会う つながる ともに創る
～ 必由館と如月会を力づくに～

熊本市立必由館高等学校